

●自然災害からくらしを守る取り組みについて調べましょう。



① 阪神・淡路大震災 1995年 (南花屋敷)



② 台風による猪名川の増水
2014年 (鼓ヶ滝)



③ 土砂災害 2010年 (黒川)

1 身近な 自然災害

つかむ

わたしたちの地いきでは、どんな自然災害が起こるおそれがあるのでしょうか。

自然災害

台風や地震、火山ふん火などが原因となって起こるひがいのことです。

川西市の自然災害



「阪神・淡路大震災でのひがいの様子だ。」



「大雨で川の水がふえているよ。どんなことが予想できるかな。」



「道路がくずれている。元にもどすのはたいへんそうだね。」

だいきさんたちは、川西市でどんな自然災害が起こるおそれがあるのか調べることにしました。



④ 水害 1983年 (鼓ヶ滝)



⑤ がけくずれ 2000年 (鼓ヶ滝)

調べる

川西市では、風水害でどんなひがいがあったのでしょうか。

川西市の風水害

川西市内には、南北に猪名川が流れています。この猪名川は、台風や集中ごう雨により流れる水の量がふえ、1983 (昭和58) 年と1989 (平成元) 年には、川の近くの家に水が入りこむという水害が起こりました。また、土砂くずれといった風水害も起こり、市民の生活にえいきょうが出ました。

そのため川西市では、ひなんじょうほうなどのきん急じょうほうをいち早く市民に伝えるために、屋外スピーカーを使った防災無線での発信を行っています。

1983年	水害 (台風10号)
1989年	水害 (秋雨前線)
1995年	阪神・淡路大震災
2000年	鼓ヶ滝 がけくずれ
	黒川地いき 土石流
2014年	増水 (台風11号)

⑥ これまでに川西市で起きた主な災害



⑦ 屋外スピーカー

調べる

川西市では、地震でどんなひがいがあったのでしょうか。

なくなった人	4人
けがをした人	551人
こわれた家	3282棟
断水	1400戸
断ガス	3万9500戸

阪神・淡路大震災での川西市のひがい
〔1996年12月25日現在、「阪神・淡路大震災 川西市の記録」〕



仮設住たく（南野坂）

日ごろから、地震や災害にそなえておく必要があるね。



非常時にそなえておいたほうがよいことは、どんなことがあるのかな。



阪神・淡路大震災と川西市

阪神・淡路大震災は、1995（平成7）年1月17日午前5時46分に発生しました。全体で6434人の方がなくなり、人々の生活に大きなひがいをもたらしました。

川西市でも4人の方がなくなり、こわれた家は3282棟にのぼりました。そのため、川西南中学校の第2グラウンドや南野坂、丸山台に仮設住たくが建てられました。

また、震災により、電気やガス、水道などが止まってしまいました。そのため、市の総合体育館には、全国からの救援物資が集まり、多くの市民ボランティアによって、地震のひがいにあった人たちに配られました。

震災から月日がすぎ、復興とともにその記おくはうすれつつありますが、震災から学んだことを生かし、災害に強いまちづくりを行っていく必要があります。



地いきで行われる防災訓練の様子

非常時用備蓄品 ・食料品は最低3日分、巨大地震に備え7日分を備蓄
・水は1人1日3リットルを目安に備蓄

飲料水	非常食品	燃料	その他
<input type="checkbox"/> ベットボトルや缶入りのミネラルウォーター <input type="checkbox"/> 貯水したポリタンク等	<input type="checkbox"/> お米（缶詰・レトルト・アルファ化米） <input type="checkbox"/> 缶詰・レトルト食品 <input type="checkbox"/> 梅干し・調味料など <input type="checkbox"/> ドライフーズ・チョコレート・あめ（菓子類）	<input type="checkbox"/> 卓上コンロ <input type="checkbox"/> ガスボンベ <input type="checkbox"/> 固形燃料	<input type="checkbox"/> 生活用水（風呂・洗濯機などに貯水） <input type="checkbox"/> 毛布・寝袋・洗面用具・ドライシャンプーなど <input type="checkbox"/> 調理器具（なべ・やかん等） <input type="checkbox"/> バケツ・各種アウトドア用品

非常時用びちく品のチェック表（川西市防災マップ）

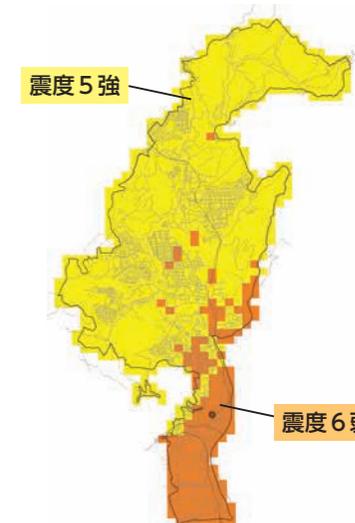
巨大地震にそなえる

国の調査によると、南海トラフ巨大地震が今後30年以内発生する確率は高く、そのさいには、この川西市でも震度5強から震度6弱のゆれを観測すると想定されています。

地震は、いつ、どこで発生するかわかりません。わたしたちにできることは、家庭でのそなえを行うとともに、地いきで行われる防災訓練に参加し、地震にそなえることが大切です。

調べる

わたしたちは、地震にそなえてどのような取り組みができるのでしょうか。



南海トラフ巨大地震が起きたときの震度の予測
〔兵庫県南海トラフ巨大地震津波被害想定〕

震度	震度6弱
なくなる人	30人
けがをする人	501人
こわれる建物	2944棟
ひななが必要になる人	1077人

南海トラフ巨大地震が起きたときに想定される川西市のひがい
〔兵庫県の地震被害想定（内陸型活断層）および兵庫県南海トラフ巨大地震津波被害想定〕

2 自然災害に そなえる

調べる

災害に対して、川西市はどのような取り組みをしているのでしょうか。

川西市を災害から守る取り組み

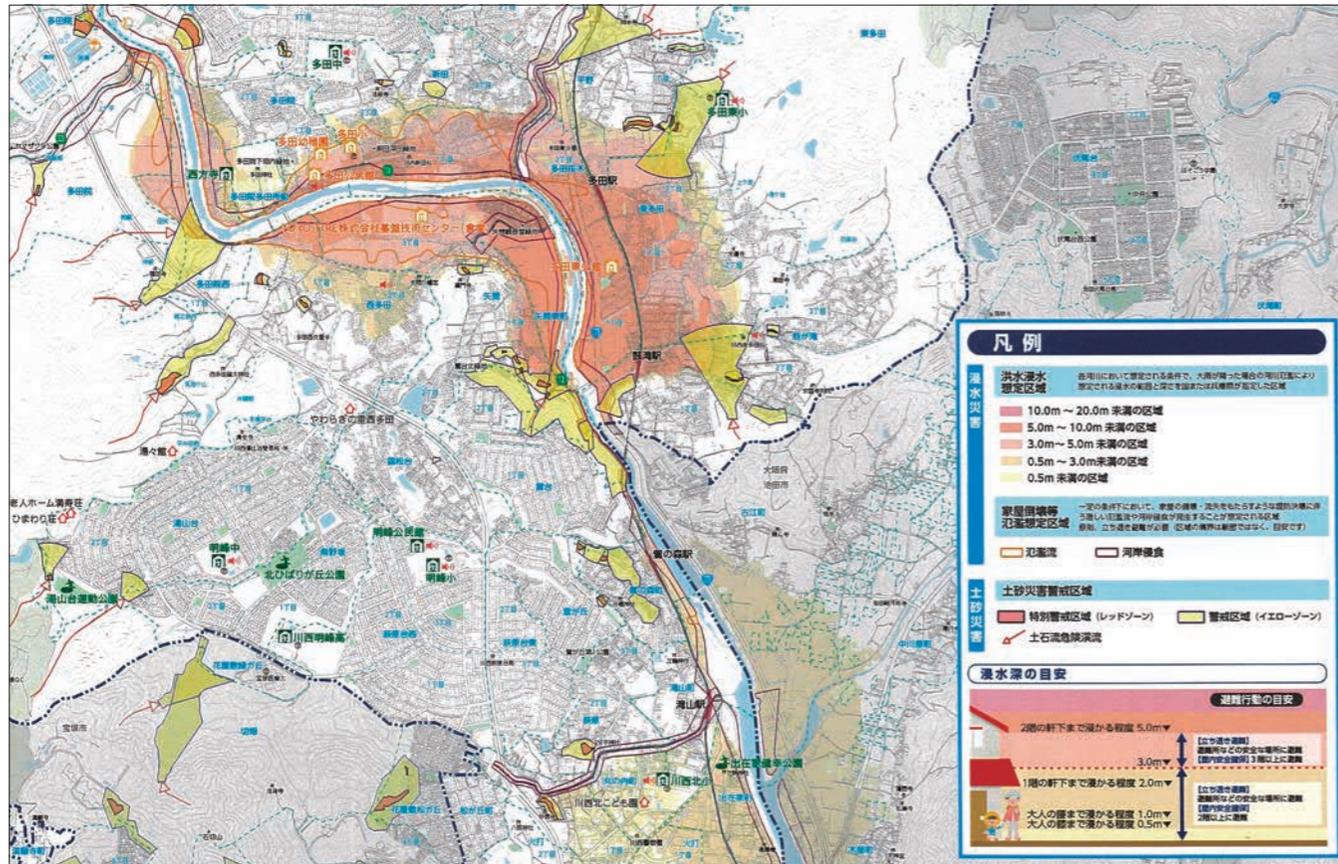
だいきさんたちは、台風や地震などの災害に対して、川西市がどのような取り組みをしているのか、調べてみることにしました。



ひなん場所のかんばん



応急給水訓練を行う市の職員の方々



川西市防災マップの一部

©2021 ZENRIN CO., LTD. (Z23JH第640号)



「まちを歩いていると、ほんとうにたくさんのせつびがあることに気づくね。」



「災害にあっても、あせらないで学んだことを生かせるようにしようよ。」

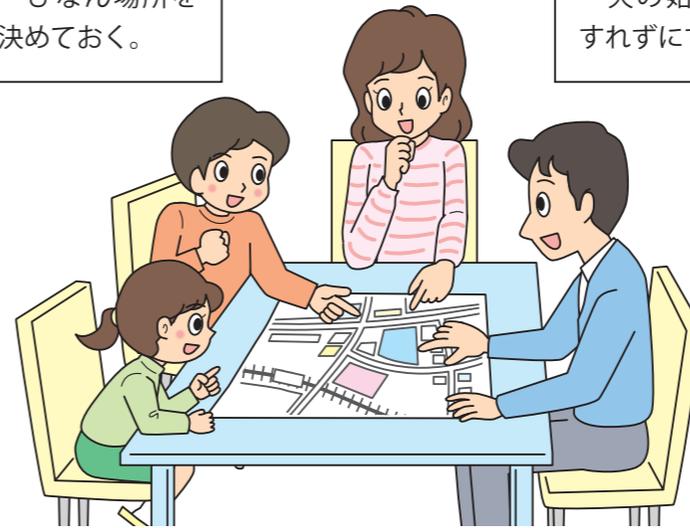


「家族の中でも、災害が起きたときどうするのか、しっかり話し合っておかないといけないね。」

家族防災会議を開こう

ひなん場所を決めておく。

火の始末をわすれずにする。



持っていきもの分たんを決めておく。

まとめる

調べたことやわかったことをまとめましょう。また、きょうみをもったことをさらに調べてしょうかいしましょう。

防災グッズについて、みんなにしょうかいできるようにまとめてみよう。



川西市の防災・災害じょうほうをとどける「ひょうご防災ネット」



川西市防災マップ